

種子冷蔵処理法を用いたトルコギキョウ抑制栽培における品種比較

[要約] トルコギキョウ抑制栽培においては、種子冷蔵処理法を用いても高温ロゼットの発生程度には大きな品種間差がある。「ロマンスグリーン」等の5品種では100%採花できる。

農業総合センター園芸研究所

成果区分

普及（情報）

1. 背景・ねらい

抑制栽培では、高温ロゼットによる採花率の低下が深刻な問題となっている。そこで、ロゼット回避に効果が高い種子冷蔵処理法を用いた抑制栽培作型において、実用的な品種を選定するために、高温ロゼット性や切り花品質に関する品種特性を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 種子冷蔵処理は、5月26日に288穴セルトレイに播種後十分吸水させ、ビニール被覆後10℃暗黒下の冷蔵室内に5週間静置して行った。処理後50%遮光したガラス室内で約4週間育苗後、パイプハウス内に7月29日にうね幅100cm、株間10cm、条間10cm、8条植えで定植した。
- 2) ロゼットの形態には、節間伸長を完全に停止するものや、極めて緩慢な節間伸長を示すもの等の品種間差異がある。また、同一品種内でも、形態の個体間差がみられる。しかし、いずれも開花が著しく遅延することから、ロゼット性については年内採花率で評価した。
- 3) 採花率は品種間差が大きく、「リネーションピンク」、「ネイルパープルライム」、「ニューリネーションアプリコット」、「MEX3305」、「ロマンスグリーン」の5品種では100%採花できる。しかし、「リネーションピンク」は、切花長が38cmであり切花品質が劣る。
- 4) 採花日は、11月中旬～12月と品種間差が大きい。供試品種中約85%の品種で11月下旬から12月上旬に採花できる。
- 5) 切花長は「MEX3305」で71cmと最も長く、切花長60cm以上の品種は8品種である。
- 6) 花蕾数は、最少が1.5個、最多が7.7個と品種間差異が大きい。採花率の高い品種の花蕾数は概ね4個以上である。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本試験では第一花のみ摘蕾処理を行った。また、下位節から発生するわき芽は、生育初中期に2回程度除去した。
- 2) 10月下旬から最低夜温15℃を目標に加温した。

4. 具体的データ

表1 抑制栽培におけるトルコギキョウの品種特性

品 種	花 色	採 花 率 (%)	採 花 日 (月/日)	切 花 長 (c m)	花 蕾 数 (個)	品 種	花 色	採 花 率 (%)	採 花 日 (月/日)	切 花 長 (c m)	花 蕾 数 (個)
リネーションピンク*	桃	100	11/13	38	5.4	ワイルドピンク	桃	50	12/ 9	63	6.3
ネイルーフブルータイム	紫絞	100	11/18	51	5.6	MEX3223 (ムラカミ)	紫	46	11/26	52	3.8
ニューリネーションアブ リコット*	橙	100	11/21	57	4.2	北斗星	紫覆	46	12/14	47	3.6
MEX3305 (ムラカミ)	紫絞	100	11/26	71	5.2	ロゼーナグリーン*	緑	43	12/ 2	48	3.6
ロマンスグリーン*	緑	100	12/ 2	63	4.5	はるか	桃絞	42	11/18	32	1.9
ピッコロエロー	黄	96	11/24	53	4.4	エクロサホワイト*	白	42	11/30	41	3.7
ニューリネーションホワイト*	白	96	11/22	55	5.6	MEX3298 (ムラカミ)	桃絞	38	11/26	47	3.7
ピノキオ	黄	96	11/25	59	5.9	ピッコロホワイト	白	38	12/ 3	41	3.8
エスホワイト*	白	92	12/ 1	61	4.3	雪ぼたん*	白	35	11/22	44	3.6
セレモニークラウドピンク*	桃	92	12/ 3	52	5.5	ひこ星	紫覆	35	12/ 6	36	3.8
セレモニースノー*	白	92	12/ 6	56	4.9	サンサーフ	紫覆	30	12/12	36	2.1
マイレディ	桃覆	88	12/ 4	60	5.4	ロゼーナピンクフラッシュ*	桃絞	29	11/28	42	4.7
キングオブイエロー*	黄	88	12/ 7	49	3.5	ミラマリン	紫覆	29	12/ 3	34	2.3
エクセルクルピンク	桃	83	11/24	45	3.0	エクセルネイビーリング	紫覆	29	12/ 3	46	4.3
カタリーナイエロー*	黄	79	11/22	53	3.5	プーチナハイドレット	紫覆	29	12/12	57	4.0
MEX3173 (ムラカミ)	紫覆	79	12/ 4	64	6.1	ピッコロサスノー*	白	29	12/14	37	2.3
MEX3101 (ムラカミ)	緑	79	12/ 5	54	4.7	ハレーイエロー	黄	21	12/12	48	5.4
あすかの雫	紫	79	12/ 7	50	4.5	キュートイエロー	黄	21	12/20	42	4.2
エクセルホワイト	白	77	12/ 2	51	4.1	MEX3172 (ムラカミ)	緑	17	12/ 2	41	5.5
彩の雪	白	75	11/11	40	4.4	セレモニークラウド*	桃	17	12/25	47	4.3
セレモニーフールフラッシュ*	紫絞	74	12/12	55	4.3	カタリーナホワイト*	白	14	12/17	60	2.3
キングオブスノー*	白	71	11/20	38	3.4	アロハキッス	桃	13	12/ 9	51	7.7
ミラコラル	桃覆	67	11/19	36	4.0	エクロサリラ*	紫	13	11/29	37	3.0
MEX3118 (ムラカミ)	紫覆	65	12/ 4	47	5.4	02-49 (みかど)	桃絞	13	12/ 1	43	3.3
つくしの羽衣	桃絞	63	12/12	65	4.9	ロゼーナイエロー*	黄	9	11/29	43	1.5
ロゼーナローズピンク*	桃	58	11/20	39	2.8	つくしの雪	白	8	12/15	46	2.5
エクロサブルーピコティ*	紫覆	58	12/ 5	47	3.1	パピオンピンクフラッシュ*	桃絞	8	12/24	40	5.0
ロゼーナピンクピコティ*	桃覆	58	12/ 6	42	1.9	サマーキッス	桃	5	12/ 1	50	6.0
あすかの萌黄	黄	58	12/15	59	4.3	アクロボリスホワイト*	白	0			
エクロサグリーン*	緑	54	12/18	51	3.8	ロゼーナブルー*	紫	0			
おり姫	桃覆	52	11/20	33	3.2	キュートブルーピコティ	紫覆	0			
セレモニームーン*	黄	52	12/10	41	3.4	つくしの薫	桃絞	0			
MEX3212 (ムラカミ) *	桃覆	50	11/29	49	4.2	スピカマリン	紫覆	0			
一番星	紫覆	50	12/ 3	36	4.3						

* : 八重品種, 採花基準 : 3輪以上又は50%以上の花蕾開花時, 12月28日で調査終了.
花蕾数 : 開花輪数と長さ2cm以上の蕾数の合計

5. 試験研究課題名・試験期間・担当研究室

温暖化に伴う切り花の生育障害症状の発生予防法開発・平成16~18年度・花き研究室